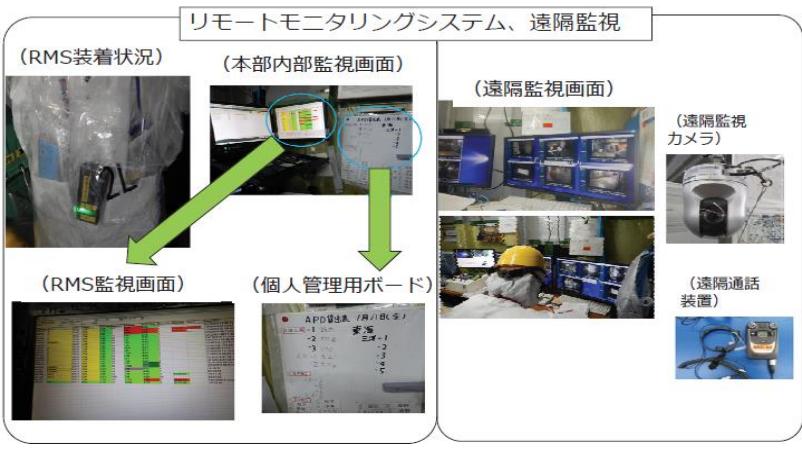
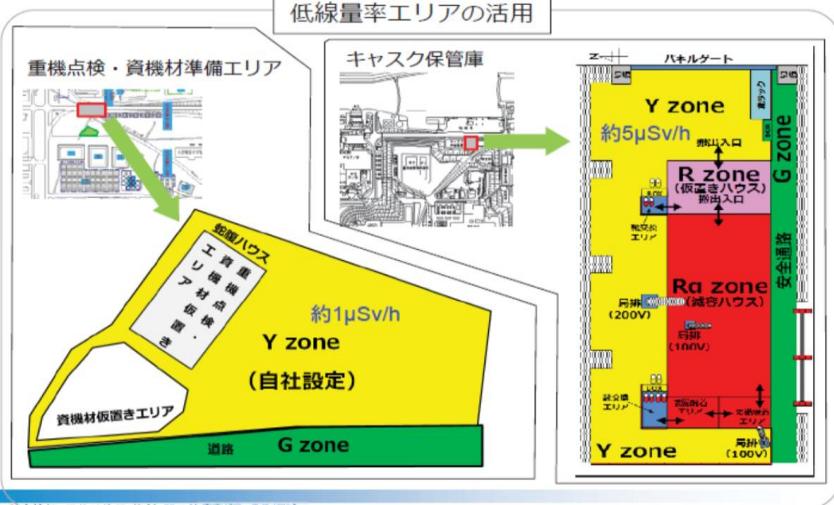


場所	分類									
原子炉建屋内 RB	RB 5	1 時間								
タービン建屋内 TB		2 距離								
R ZONE R		3 遮へい								
Y ZONE Y		4 線源の除去								
G ZONE G		⑤ 遠隔、ロボット化								
その他 () Z		6 汚染拡大防止	番号	01-05						
		7 その他								
内 容	2号機原子炉建屋1FL X-6前に機器を搬入するための干渉物撤去									
作業部位	2号機原子炉建屋1FL									
概 略	2号機原子炉建屋1FL X-6に機器を搬入するにあたり、干渉機器の撤去を実施した。									
評 価 定性・定量	効 果	対策前	対策後							
	被ばく線量(mSv)	450	28							
	人工数(人日)	--	--							
事例詳細										
対策前	作業エリアとなる2号機原子炉建屋1FLは高線量率であるため、人力による機器移動では多くの被ばくが懸念された。									
対策内容	下記に示す様々な遠隔監視・リモートモニタリングを行うとともに、極力低線量率エリアを活用した作業工法を採用した。									
 <p>リモートモニタリングシステム、遠隔監視</p> <p>(RMS装着状況) (本部内部監視画面) (遠隔監視画面)</p> <p>(RMS監視画面) (個人管理用ボード)</p> <p>(遠隔監視カメラ) (遠隔通話装置)</p>										
 <p>低線量率エリアの活用</p> <p>重機点検・資機材準備エリア</p> <p>キヤスク保管庫</p> <p>Y zone 約5µSv/h</p> <p>約1µSv/h Y zone (自社設定)</p> <p>R zone (供給ハウス) 約0.5µSv/h</p> <p>Ra zone (200V) (100mV)</p> <p>Y zone (100V)</p> <p>安全廊下</p> <p>基密情報-目的外使用・複製・開示禁止 東京パワーテクノロジー</p>										

被ばく低減対策好事例集